

経済活動としてのポピュラー文化

授業内容

芸術というと、優れた才能を持つ個人が作品を創作し、豊かな素養を持つ受け手がそれを鑑賞するというイメージが伝統的にあります。それを経済活動としてとらえる考え方は、金儲け主義として批判を受けかねません。しかし、文化の創造と受容がポピュラー化した現代において、文化産業が市場に占める割合は巨大なものになっています。現代のビジネスにおいては、工業製品ばかりではなく、文化的商品をいかに取り扱うかが重要になっています。

- ・文化産業の成立と発展
- ・グローバル化時代の文化産業
- ・アメリカ文化対ローカル文化

この講義で身につくこと

映画や音楽などの文化活動を経済的な側面からとらえ、その産業構造を理解します。また、文化産業が国際市場や国際外交において持つ影響力の大きさを理解します。

所要時間

1時間



高崎商科大学
商学部
教授 金澤 智

<専門分野>
比較文化
ポピュラー文化